



～一人ひとりが思いやり 心ふれあうめぐもりのまち～
しゃ きょう

社協だより

令和元年
(2019年)

7 月号

Vol.323

第15回

みんなでまごころみ楽りエーション

～みんなでつくろう笑顔の輪 運動会～

5月18日に生石研修センターで開催しました



手話歌や防災O×クイズ、 綱引きなどの競技をしました

応援合戦では、チームオリジナルの応援を披露し、手作りの応援グッズや旗を使い、相手チームにもエールを送りました。

かめチーム160点、うさぎチーム150点の接戦でした。

見て、聞いて、動いて楽しめる運動会で大きな「笑顔の輪」ができました。



主な内容

P2…任期満了に伴う社協役員紹介

P3…事業報告と決算

P7…川柳入賞発表

任期満了に伴う 新しい社協役員が決まりました



社会福祉法人 高砂市社会福祉協議会

理事長 **植原 敏行**

就任のごあいさつ

盛夏の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、私儀、このたび任期満了に伴う理事会におきまして高砂市社会福祉協議会理事長を重任いたしました。

地域福祉をとりまく環境は、少子高齢化、人口減少社会の進行に加え、核家族化とともに、経済的格差は益々増大し、見守りや支援を必要とされる世帯が増える中で地域内での希薄化が見られます。

これらに対処するため、市が策定された地域福祉計画に併せ、本会におきましても平成三十年度に策定した「第六期地域福祉推進計画」に基づき、当協議会の目指す「一人ひとりが思いやり心ふれあうぬくもりのまち」の実現に向けた発展、強化に取り組みまいります。

高砂市をはじめ、関係機関、地域の皆様との連携により、全ての市民の皆様が住み慣れた地域で一人ひとりが健やかに、安全で安心な生活が送れる地域福祉の推進に微力ではございますが精進してまいります。

【任期】令和元年6月13日～令和3年度定時評議員会まで（2年間）

理事長 **植原 敏行**

副理事長 **北野 美智子 / 中尾 進 / 前田 栄一**

理事 **鹿野 弘 / 藤田 正晴 / 齋藤 保 / 岡田 章 / 若森 進**

理事 **野々村 康吉 / 井脇 好大 / 本庄 龍一 / 増田 賢藏**

理事 **木村 義則 / 北野 裕史（以上、計15名 敬称略）**

監事 **黒澤 昌宏 / 稲垣 稔（以上、計2名 敬称略）**

社協の役員(理事・監事)が担う役割

理事会 (執行機関)	理事	15名	理事会において、地域福祉推進のあり方や社協事業の経営(運営)について話し合い、社協の業務執行の決定を行います。
監査 (監査機関)	監事	2名	法人の業務執行の状況や財産の状況を監査します。また、定期的に監査報告書を作成し、理事会、評議員会等に報告します。

～決算報告～

法人総合資金収支決算(サービス区分別)

事業区分	拠点区分	サービス区分名	収入	支出	当期資金収支差額
社会福祉事業	法人運営本部	法人運営事業	57,158,361	63,482,413	△ 6,324,052
		共同募金配分金事業	13,485,554	13,485,554	0
		善意銀行運営事業	3,969,126	4,147,605	△ 178,479
		ボランティア活動センター事業	11,908,828	13,551,471	△ 1,642,643
		生きがい型デイサービス事業	7,474,917	7,474,917	0
		ふれあいのまちづくり事業	43,097,310	48,755,351	△ 5,658,041
		資金貸付事業	2,310,868	2,310,868	0
		福祉サービス利用援助事業	3,214,950	5,134,401	△ 1,919,451
	介護保険事業等	訪問介護事業	82,356,327	89,843,729	△ 7,487,402
		居宅介護支援事業	47,451,326	42,255,365	5,195,961
		障害者(児)居宅介護事業	42,213,248	46,269,488	△ 4,056,240
		障害者(児)同行援護事業	12,480,047	7,012,848	5,467,199
		障害者(児)相談支援事業	4,482,101	2,920,233	1,561,868
		障害者(児)地域生活支援事業	7,942,804	8,486,440	△ 543,636
		老人居宅等介護事業	1,230,504	524,573	705,931
		公益事業	法人運営本部	地域包括支援センター事業	151,496,339
		ファミリーサポートセンター事業	8,001,600	8,508,166	△ 506,566
(内部取引消去)			△ 6,339,930	△ 6,339,930	-
法人総合(①)			493,934,280	506,812,748	△ 12,878,468
前期末支払資金残高(②)					236,445,846
当期末支払資金残高(①+②)					223,567,378

平成30年度

事業報告と決算

去る6月13日(木)の評議員会において、平成30年度の事業報告と決算報告が承認されました。事業の主な内容を下記のとおり「社協活動の1年間のあゆみ」で振り返ります。

社協活動の1年間のあゆみ

～事業報告～

計画の推進と組織・経営基盤等の強化

市民への情報提供及び啓発



- 社会福祉充実計画を推進し、社会福祉法人連絡協議会設立に向けた研修会や準備会を開催
- 社会福祉充実残額を活用し、非正規職員に対する処遇改善を実施
- 社協事業広報パンフレット「高砂市社会福祉協議会がわかるガイド」を発行
- 「社協だより」を年12回発行、「ホームページ」を53回更新
- 「第28回みんなの社協フェア」を11/11(日)に開催

地域ネットワークづくりの推進 (ふれあいのまちづくり事業の展開)



- 923人の第10期福祉委員を中心に、福祉のまちづくり活動を推進
- 「ふれあいいいききサロン事業」を実施する延べ69部会に対し、活動費を助成
- 市内で子ども食堂を運営する団体に対し、運営費を助成
- エンディングプラン・サポート事業利用対象者への助成制度を整備
- 移送サービス事業の実施に向けて、運転ボランティア確保に向けた働きかけを実施

ボランティア事業の展開と 福祉教育の推進



- 新たに熟年ボランティア入門教室「地域支え合い活躍塾」を開催し、延べ22人が参加
- 福祉教育推進事業(小学校10校、中学校6校、高校4校)を実施
- 地域貢献活動の大切さを学ぶことを目的に、高校生ボランティア“TKV”研修会を全9回開催し、延べ104人が参加
- 西日本豪雨による災害被災地(倉敷市)へ職員を派遣(3人)、および災害支援ボランティアを派遣(2回、計34人)

自立支援に向けたサービス提供と 安心して暮らせる環境づくりの推進



- 「訪問介護事業」においては延べ2,389人、「居宅介護支援事業」においては延べ2,472人に対しサービス提供やケアプランを作成
- 「障害福祉サービス事業」では延べ566人、「地域生活支援事業」では延べ147人の利用者に対し支援を実施
- 「いきいき百歳体操事業」では5周年記念交流会を開催し、246人が参加
- 「生活支援体制整備事業」では第2層協議体結成に向けて取り組み、4地区の協議会が結成
- 「ファミリーサポートセンター」では子育てファミリーフェスタを開催し、958人が参加

熱中症・食中毒に注意しましょう

夏場は体の抵抗力や免疫力が低下します

熱中症とは？

気温が高い環境や湿度が高い環境にいる事で、体温が下がりにくく、体の調子が悪くなることです。室内にいても熱中症になることがあります。

熱中症の症状

- めまいや立ちくらみ、顔のほてり
- 筋肉のけいれん、足がつる
- 倦怠感や吐き気、頭痛 など



熱中症にならないために

- のどが渇かなくてもこまめに水分をとる
- 帽子や日傘を利用して日光を避ける
- エアコンをつけて室温が上がらないようにする

熱中症かと思ったら

- わきの下や首、足の付け根を冷やす
- 自力で水が飲めない、意識がない場合はすぐに救急車を要請しましょう

食中毒とは？

ウイルスや細菌が付着した手や食べ物をとおして体内に菌などが入り体調を崩す病気です。

食中毒の症状

- 吐き気や嘔吐
- 腹痛や下痢
- 発熱 など



食中毒にならないために

- 買ったものは、早く冷蔵庫に入れる
- 冷蔵庫を過信せず早めに食べきる
- 十分に加熱する

食中毒になったら

- 水分補給(嘔吐や下痢での脱水予防)
- 自己判断で下痢止めを飲まない
- 水分が飲めないとき、血便のある場合や高熱がある場合は病院へ

エントリー受付期間 令和元年7月1日(月)～8月30日(金)

県民ボランティア活動助成のご案内

目的

県民への地域活動への主体的な参加を促し、ボランティア活動の裾野を拡大するとともに、県民自らが行うボランティア活動の支援を通じて、活動の安定的かつ継続的な発展を図ることを目的とした助成金です。

対象

- ・継続的にボランティア活動を行う法人格を持たないボランティアグループ、団体であること
- ・社会福祉協議会にボランティアグループ、団体として届け出る(届け出をしている)こと

助成額

1グループ・団体にあたり3万円が上限の全団体一律同額(エントリー受理数により助成額が決定されますので、3万円より減額となる可能性があります。)

生きがい対応型デイサービスセンターだより



市内在住のおおむね60歳以上で、介護保険サービスを利用していない人を対象に、介護予防を目的とした仲間づくりや交流、健康増進等の行事を下記のとおり行っています。
※参加の際には、利用登録と『地域ささえあい講座』の受講が必要です。

わくわくフェスタ

健康 若返り体操

筋力トレーニング&ストレッチで若返り

- 日 時：7月11日(木) 13:30～15:00
 - 場 所：交流スペース6・7
 - 定 員：30名
 - 参加費：100円
 - 申込締切：7月3日(水) 16:00
- ※応募多数の場合、抽選とさせていただきます。



7月定例行事

- 午前(10:00～)
 - 1日(月) うたの会B(10:00～) うたの会A(12:00～)
 - 2日(火) いきいき体操
 - 3日(水) 絵手紙
 - 10日(水) 折り紙②
 - 11日(木) スーパードライブ①(9:30～)
 - 18日(木) 折り紙③
 - 23日(火) ゆうゆう体操
 - 26日(金) 朗読の会
- 午後(13:30～)
 - 24日(水) スーパードライブ②

わきあいあいサロン

介護予防に役立つ体操やゲームを各公民館で行っています。
7月～9月は、わきあいあいサロンの開催はありません。
10月以降の開催をお楽しみに！

公民館での様子♪



参加者の声...

「いろんなことができて楽しい」
「もっと早く参加すればよかった」
「みんなと会えてうれしい」

囲碁・将棋 ●午後(13:00～)

- 3日(水) ● 5日(金)
- 8日(月) ● 18日(木)
- 23日(火)



定員超過している行事があります。
参加を希望される方は、
お問い合わせ下さい。



申込み・問合せ先 **生きがい対応型デイサービスセンター**
山陽電鉄『高砂駅』より西へ徒歩10分/『荒井駅』より東へ徒歩15分

☎444-3030

高砂市ファミリーサポートセンターです!

ファミリーサポートセンターでは、「子育ての援助を受けたい人」と「援助を行いたい人」が「依頼・提供・両方会員」となり、お互いに助け合いながら地域の中で子育ての相互援助活動を行っています。
みなさまもファミリーサポートセンターの会員になりませんか? ～にこにこポイント対象事業(20ポイント)～

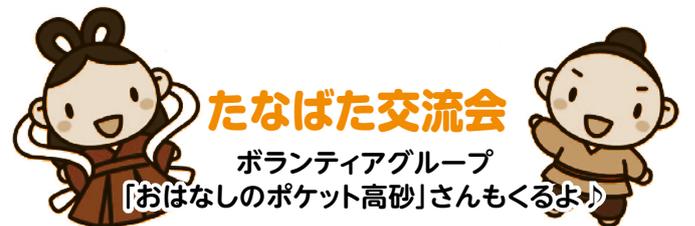
第1回 提供・両方会員 フォローアップ講座&情報交換会 子育て応援講座

子育てや子育て支援への理解を深め、より楽しく安心して活動していただくために開催します。

- 〈日 時〉7月10日(水)9:30～11:30
- 〈場 所〉高砂市ユアアイ福祉交流センター1階 交流スペース1
- 〈対 象〉ファミリーサポートセンター提供会員・両方会員、子育て支援に関心のある人
- 〈託 児〉5名 (対象:1歳6ヵ月以上の子ども要予約)
- 〈定 員〉20名 〈締 切〉7月8日(月)



時間	内容
9:30～10:30	「子どもとのかかわりと遊び」 講師:市子育て支援センター保育士 坂本 通子 氏
10:40～11:30	「提供・両方会員情報交換会」 ～実際の援助活動を通して～こんなときどうするの?



たなばた交流会

ボランティアグループ
「おはなしのポケット高砂」さんもくるよ♪

- ☆ 〈日 時〉7月29日(月)10:00～11:30 ☆
- ☆ 〈場 所〉阿弥陀公民館2階 講堂 ☆
- ☆ 〈対 象〉ファミリーサポートセンター登録会員、 ☆
子育て中の人 ☆
- ☆ 〈定 員〉20組 〈締 切〉7月25日(木) ☆

申込み 高砂市ファミリーサポートセンター
問合せ TEL 442-0555 FAX 443-0505

小地域福祉活動 写真展

～各地域では、「ふれあいいきいきサロン」や見守りが必要な方への「ゆうあい訪問活動」等が福祉委員や民生委員・児童委員の創意工夫により、活発に行われています。今回は、3月～5月に開催された活動の一部をご紹介します～



◆高砂町 第9福祉部会(4月11日)

市民病院から講師をお招きし、健康について学んだ後、かみかみ百歳体操を実施



◆荒井町 日之出町福祉部会(4月11日)

お花見後、自治会館内で参加者どうし近況を話しあう



◆伊保町 伊保西部福祉部会(4月9日)

弁当を頂きながらお喋りを楽しんだ後、お手玉を使ったゲームで盛り上がる



◆伊保町 伊保南部福祉部会(3月9日)

「ふるさとの民謡を唄う」と題して、いきいきサロンを開催、高砂音頭や炭坑節を踊る



◆伊保町 タクマ福祉部会(5月12日)

公園で輪投げ大会を開催、三世代交流の場となり、楽しい一日を過ごす



◆中筋校区 中筋一丁目福祉部会(4月19日)

公園でグランドゴルフを行った後、昼食を頂きながらお喋りを楽しむ



◆米田町 古新福祉部会(4月6日)

間違い探しで頭の体操をした後、昼食を頂き、カラオケを楽しむ



◆米田町 塩市福祉部会(4月7日)

晴天の下、花見会を開催、お喋りを楽しんだ後、ビンゴゲームで盛り上がる



◆阿弥陀町 中所福祉部会(4月28日)

三世代で史跡やため池を巡るウォーキングを開催、手作りのおはぎとコーヒーでひと休み



◆阿弥陀町 中西福祉部会(4月7日)

お花見会を開催、お菓子やお茶を頂きながらお喋りやカラオケを楽しむ



◆阿弥陀町 魚橋北福祉部会(4月7日)

公園にて弁当を頂きながら交流を行い、ゲームやミニ防災研修会で盛り上がる



◆北浜町 牛谷東福祉部会(4月7日)

新小学1年生を祝う会を実施し、皆で歌ってお祝いを行なう

紙面の都合上、一部の活動のみ掲載しています。この他にも、活動されている地区がたくさんあります。ぜひ、お近くのいきいきサロン等へご参加ください。



善意銀行預託状況



～あたたかい善意をありがとうございました。高砂市の福祉活動に役立てます～

—金銭の部—

地区名	氏名	金額(円)	備考
高砂	玉野俊行	2,000	
	自由空間たかさご	3,501	お客様からの寄贈の品の 売上げを福祉のために
荒井	田中	3,163	
曾根	匿名	50,000	
阿弥陀	匿名	2,560	電動ベッド貸出のお礼として
その他	日本さつき盆栽協会 東播支部	2,452	
	匿名	20,000	

—物品の部—

R1.5.1～5.31 ※敬称略

第90回東播地区メーカー実行委員会…タオル386枚
(株)メディカルケア…車いす5台
田中…シャワーチェア、テレビ、タオル、下着、パジャマ 他
匿名…紙おむつ21袋、尿とりパッド84袋
匿名…未使用はがき216枚、未使用切手471枚

加藤乳業(株)、(株)優和、市役所、市民病院、保健センター

森川 佳昭、田中、匿名

※善意銀行への寄附金は税額控除が適用されます。

佳作

意地張らず
妻への愛想
いまのうち
シルバーボーイ(77才)

優秀賞

すまんなあ
その一言で
がんばれる
匿名(81才)

佳作

相和して
湿布貼り合う
老い二人
藤本幸雄(85才)

たくさんのご応募、ありがとうございました!!

川柳お題「介護」入賞作品発表



市民の皆様からのご意見・ご感想

福祉活動に関わっておられる方々に敬意をもってありがとう、ご苦労さまを送ります。写真展の記事は雰囲気がよく出ています。



福祉委員の方々には地域での福祉活動にご協力いただき誠にありがとうございます。今後も紙面を通して、いきいきサロンの雰囲気が伝わるよう努力していきたいと思っております。

介護が始まって今まであまり見なかった「社協だより」でしたが、とても参考になりました。正直大変なこともありましたが、涙をこらえて精一杯の笑顔で「ありがとう」の言葉を送ります(義父は昨年94才で亡くなりました)。



貴重なご意見をいただきありがとうございます。これからもより多くの方々に楽しみにしていただける紙面づくりを目指して職員一同努力いたしますので、よろしくお願ひします。

百歳体操、毎週1回楽しく自宅から片道15分歩いて参加しています。大病後、頑張っています。



皆様からの楽しいというご意見は、とてもうれしく感じています。これからも元気に続けてください。

～「もの忘れ」気になりませんか?～

相談のみも
可能!

あたまたの健康チェック

もの忘れが気になる方、ご家族の認知症の相談もお受けします。お気軽にお越しください。

日時：7月16日(火)・9月17日(火)

①10時 ②11時 ③13時 ④14時 ⑤15時

場所：高砂市ユーアイ福祉交流センター1階 相談室1

人数：各時間1名 費用：無料

対象：高砂市内在住の65歳以上の方

実施方法：対話形式で、簡単な質問に答えていただきます。(30分～1時間程度)

申込方法：電話又は来所にて予約が必要です。

ここに
ポイント
対象事業

介護者のつどい

～男性介護者のつどい・嚥下機能について～

日時：8月22日(木) 13:30～15:00

場所：地域密着型特養ホーム常寿園3階
高砂市北浜町牛谷721-1

講師：高砂市民病院 言語聴覚士 杉下周平氏

内容：講演及び交流会

対象：男性で介護をしている方・介護に困っている方
・興味のある方等

参加費：無料

ここに
ポイント
対象事業

申込み・問合せ先

高砂市地域包括支援センター ☎443-3723

認証認知症カフェ



カフェの名称	問い合わせ先	活動日程	開催日
Café de のじきく	特別養護老人ホーム のじきくの里 Tel 079-247-9200	月1回 第1水曜日 13:00～15:00	7月 3日(水) 8月 7日(水)
かしまへず カフェ	鹿島の郷 Tel 079-446-4166	月1回 第2日曜日 10:00～12:00	7月14日(日) 8月18日(日) ※お盆の為
めぐみカフェ	特別養護老人ホーム めぐみ苑 Tel 079-449-0111	月1回 第3水曜日 10:00～12:00	7月17日(水) 8月21日(水)
心まちカフェ	小規模多機能ホーム 心まち Tel 079-431-0361	月1回 第4金曜日 13:30～15:30	7月26日(金) 8月23日(金)

チャレンジジュニアボランティア2019

～防災について学びながら炊き出し(災害食)を作ろう～

日時：8月21日(水) 11:00～13:00

場所：伊保中央公民館 調理実習室

内容：高齢者や障がい者と共に調理しながら
ボランティア活動への理解を深めます

持ち物：エプロン・三角巾・おてふきタオル

参加費：無料 対象：小学4年～中学3年生

定員：20名(保護者の参加可) 申込締切：8月9日(金)

申込み・問合せ先

ボランティア活動センター

☎442-4047・FAX443-0505



耳より ホットライン

認知症の人を
とさえる家族の会 「いるかの会」

高砂市支え合う
介護者の会 「すずらんの会」

若年性認知症と
ともに歩む 「子いるかの会」

～お気軽にご参加ください～

日頃の介護について専門職との懇談を通じて相談に応じます

日時：7月25日(木) 13:30～15:00

場所：高砂市文化保健センター 1階 健康教育室

内容：地域包括支援センター・
支援協力センター専門職との交流会

若年性認知症と
ともに歩む 「子いるかの会」

～みんなで楽しむサロンです～

日時：7月21日(日) 13:30～15:30

場所：ユーアイ福祉交流センター2階
交流スペース7

内容：Yさんのお話
～今だからわかる認知症の夫の思い～

参加費：300円

申込み・問合せ先

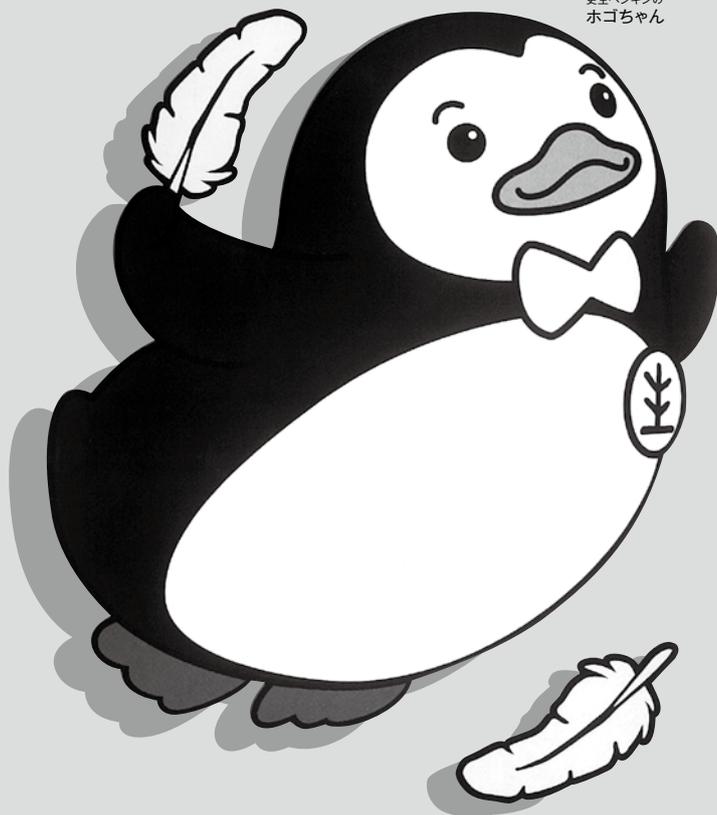
高砂市社会福祉協議会 ☎444-3020

第69回 “社会を明るくする運動”

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

主唱/法務省[®]

更生ペンギンの
ホゴちゃん



7月は“社会を明るくする運動”強調月間・再犯防止啓発月間です。

第69回

社会を明るくする運動

主唱 法務省

『犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ』

「社会を明るくする運動」

高砂地区推進委員会の組織

高砂市

高砂市保護司会

高砂市教育委員会

高砂市社会福祉協議会

高砂市民生委員・児童委員協議会

高砂防犯協会

高砂交通安全協会

高砂市連合自治会

高砂市連合婦人会

高砂市老人クラブ連合会

高砂市青少年補導委員協議会

高砂市青少年健全育成連絡協議会

高砂商工会議所

高砂ロータリークラブ

高砂青松ロータリークラブ

高砂ライオンズクラブ

(社)高砂青年会議所



人はみな、
生かされて
生きてゆく。

する運動月間です



安全・安心な社会をつくるには



「社会を明るくする運動」
高砂地区推進委員会委員長

高砂市長 登 幸 人

本格的な夏の訪れを迎え、暑さが厳しい季節となつてまいりました。市民の皆様方には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素より市政各般に格段のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、毎年7月は『社会を明るくする運動』犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ』の強化月間です。この運動は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない地域社会を築こうとする法務省主催の全国的な運動で、今年で69回目を迎えます。本運動では、「幸福（しあわせ）の黄色い羽根」をシンボルマークとし、地域の方々の理解と協力の輪を広げています。

昨今、マスメディアでは連日のように犯罪のニュースが報じられています。安全で安心な社会の実現のためには取締の強化も非常に重要ですが、同時に二度と過ちを犯さないよう、罪を犯した人たちの更生と社会復帰を地域の人々が全力でサポートすることも必要不可欠です。しかし残念なことに、現実には仕事や身寄りがなく孤立し、地域コミュニティのサポートを得られず、居場所がないために犯罪を繰り返してしまう人も少なくありません。このよ

うな負の連鎖が繰り返されることのないよう、この運動の主体である推進委員会をはじめとする地域の保護司の方々や更生保護法人、更生保護女性会、BBS会などのボランティアの方々、改善更生に協力いただいている事業主の方などがサポートに尽力しておられます。市民の皆様におかれましても、この運動月間を機に、犯罪や非行のない、安全で安心して暮らせる社会にするために何が求められているのか、自分が何ができるのか考え、そして行動につなげていただければ幸いです。信じてくれる人がいること、必要とされる場所があること、これが更生保護の大きな支えとなります。

本市におきましても、毎年「高砂市明るい安全安心まちづくり市民大会」を開催し、犯罪や非行のない安全で安心して暮らせるまちづくりの啓発活動に取り組んでいるところです。

今後も引き続き、幅広く地域住民や関係者の協力しながら、安全・安心な生活と犯罪や非行からの立ち直りを支えられる地域づくりに努めてまいります。

最後になりますが、高砂市保護司会をはじめ関係各位の皆様には、日頃より更生保護事業の推進に多大なご尽力を賜っておりますことに心から感謝申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

高砂保護区事件数 (令和元年6月1日現在)

保護観察事件 22件
(内訳) 少年…………… 11件
成人…………… 11件

生活環境調整事件 25件
(内訳) 少年…………… 1件
成人…………… 24件

神戸保護観察所

保護観察は、犯罪をした人又は非行のある少年が、実社会の中でその健全な一員として更生するように、国の責任において指導監督及び補導監督及び補導援護を行うもので、保護観察処分少年、少年院仮退院者、仮釈放者、保護観察付執行猶予者及び婦人補導員仮院者などがその対象となります。

生活環境調整は、刑事施設や少年院などの矯正施設にいる人の仮釈放・仮退院後の住居や就業先の帰住環境を調査し、改善更生と社会復帰にふさわしい生活環境を整えることによって、再犯・再非行を防止するとともに円滑な社会復帰を目指すものです。

7月は社会を明るく

小学生の部

兵庫県保護司会連合会会長賞

高砂市立曾根小学校 六年 桑 平 の ど か

つながり合い、 笑顔がいっぱいのまちに

近くにいるわたしのおばあちゃんは、わたしが学校から帰ってきて、家にいるとよくおやつを持ってきてくれたり、様子を見に来てくれたりする。一人で家にいるときに思いがけず、来てくれるととてもうれしい。

そんなおばあちゃんも、5年前におじいちゃんが亡くなり、今は一人でくらししている。一人になって不便なこともあるようで、例えば車を運転する人がいなくなると、遠くに行きたい時に行けない時もあると言っていた。

でも、おばあちゃんの周りには親切な人がたくさんいる。廃品回収に出す新聞や雑誌をいっしょに運んでくれたり、しゅみの「ヨガ」に行くときもいっしょに車で連れて行ってくれたりする近所の人たちがいるので、とても助かっているとおばあちゃんは言っていた。

おばあちゃんは、料理やお菓子作りが得意で、わたしもいっしょによく作ったりするが、上手にできた時は、近所の人におすそ分けをしている。そんな様子を見て、おばあちゃんが周りの人にふだんから親切にしているからおばあちゃんの周りに親切にしてくれる人がたくさんいるのだと思った。

昔は、今よりもっと近所どうしの付き合いがあったとお父さんが言っていた。お父さんが子どものころは、近所の人にご飯をごちそうになったり、いっしょに遊びに連れて行ってもらったりしたそう。今は、そういうこともなかなかできないとも言っていた。

先日、新聞で7月の大雨の時に、避難することが遅れて家から出られなくなった人を近所の人は何回も何回もボートで救出に行き、たくさんの方が助かったという記事を読んだ。ふだんからの近所の人たちどうしのつながりがあつたからこそ、できたことだと思う。

わたしの周りには、家族をはじめ、わたしを見守ってくれている人たちがたくさんいる。わたしたちが登校する時、安全に登校できるように見守ってくださっている人たちがいる。わたしは登校する時、見守ってくださっている人にあいさつをする。その時に見守ってくださっている人が気持ちよくあいさつをしてくれるので、とてもうれしくなる。近所にも出会った時に声をかけてくれたり、わたしたちが遊んでいる時に、大丈夫かなと見ていてくれたりしている人がいる。いつもあたたかく見守って優



第69回
社会を明るくする運動
主唱・法務省

犯罪や非行を防止し、
立ち直りを支える地域のチカラ
見えますか
スマホじゃなくて
みんなの心

主催
協賛

第68回

「社会を明るくする運動」

開始式・総理大臣メッセージ伝達式

平成30年6月25日、ユーアイ帆つとセンターにおいて開催された第68回「社会を明るくする運動」高砂市推進委員会で承認された今年度の事業計画に基づき、7月2日午前8時30分から市役所玄関において社明運動開始式・総理大臣メッセージ伝達式を執り行った。

始めに、高砂市保護司会吉屋会長の開会あいさつの後、高砂市社明運動推進委員長登高砂市長から、運動開始にあたって「再犯率の高い施設出所者を市民とともに受け止めていく、そういう温かい心が社会を明るくするものであろうとの思いのもと、全市を挙げてこの運動に取り組んでまいる所存であり、そのことが再犯防止、また安全で安心なま

ちづくりに必要不可欠であると思えますので、保護司をはじめ、推進委員会の皆様による運動推進をよろしくお願ひしたい」とのあいさつがあった。



引き続き、新寶保護司会副会長による安倍首相からのメッセージ代読のあと、推進委員長登市長へメッセージを伝達し、閉会した。



終了後、福祉部により手配していただいた公用車2台に女性保護司が同乗し、東と西に分かれて市内啓発へと出発し、お昼過ぎに終了した。
なお、当日の参加者は、市長をはじめ市職員、保護司、推進委員会、後援団体関係者等57名であった。

高砂市保護司会

新寶 能子、中尾 進
 新田八洲彦、橘 純子、
 廣瀬 明正、三好 由紀、
 梶原 好博、藤井 正憲、
 宮本 幸弘、籠谷 稔、
 日岡 孝夫、志方 美之、
 正井 久義、塩谷 重晴、
 曾根 眞正、浜野 和樹、
 柴田 晃、岸本 修、
 吉屋 省悟、三枝 政明、
 古門 貞美、大西眞美子、
 森本 孝義、今竹 一史、
 石堂 求、藤原 千秋、
 河野 道正、柴田 ひな、
 大西 一弘、川端 宏明、
 西川 賀久、川本千代子、
 林 潤一

